



DSO参加機関イベントのご案内

■ 筑波大学 ■

セミナー： SOGI（性指向・性自認）/LGBT+と大学

講師：三橋順子氏（性社会・文化史研究者／明治大学文学部非常勤講師）

日時	6月6日（水） 15:00～17:00
場所	筑波大学 総合研究棟A 110公開講義室
対象	DSO参加機関, 一般
申込	https://goo.gl/forms/SwW5F06HtrfRQaWu2

筑波大学第2回全学FD研修会 主催・筑波大学ダイバーシティ・アカウンタビリティ・オフィスの協賛

SOGI（性指向・性自認） /LGBT+と大学

2018年6月6日（水）15時00分～17時00分
筑波大学 総合研究棟A 110公開講義室 ※参加費無料

高橋順子氏 「SOGI（性指向・性自認）/LGBT+と大学」
性社会・文化史研究者／明治大学文学部非常勤講師

1979年東京都生まれ。性社会・文化史研究者。明治大学、筑波大学、明治大学文学部、筑波大学大学院非常勤講師。専門は日本におけるジェンダーとクィアリティの研究。とりわけトランスジェンダー（性自認）の社会・文化史、異性愛の歴史史。2008年、筑波大学大学院修士課程で「日本最初のトランスジェンダーの学術誌となる、2008年10月、筑波大学大学院の日本初の「トランスジェンダー論」の創刊号を発行。著書に『性別とは何か』（講談社学芸文庫）、『異性愛』、『性自認の研究 筑波大学非常勤講師』（早稲田）、など。主な論文に「性自認とは何か」『性自認』など。

15時00～15時10分 懇話会前 / 15時10分～15時20分 懇話会中
15時20～15時30分 懇話会後 / 15時30分～15時40分 懇話会後 / 15時40分～15時50分 懇話会後
15時50～16時00分 懇話会後 / 16時00分～16時10分 懇話会後 / 16時10分～16時20分 懇話会後

申 込：下記のURLから申し込み用紙をダウンロードし、印刷してご返信ください。
締 切：4月11日（日）当日参加費は、印刷用紙の送付と共に郵送でお申し込みください。
写 真：筑波大学職員、大学教員、学生、非常勤講師、学外からの参加希望の方はご返信をお願いします。

※筑波大学のロゴは、筑波大学のロゴを複製してご利用ください。
〒305-0856 茨城県つくば市千現1-2-1 筑波大学
TEL: 029-859-1000 FAX: 029-859-2799 E-mail: kyodosankaku@nims.go.jp
URL: <http://www.nims.go.jp/dso/>

【内容】

筑波大学は平成29年3月に「LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」を策定し、平成30年3月に改訂版を公表しました。

継続的な啓発活動の一環として、当事者であり、性社会・文化史研究者としてセクシュアリティ・マイノリティに関する幅広い知識と経験を有する三橋順子氏をお呼びしてセミナーを実施します。

※筑波大学の第2回全学FD研修会でもありますが、学外の一般の方もご参加いただけます。



最近の取組ご紹介

■ 農研機構 ■

農研機構は、平成30年4月より一時預かり保育支援の取り組みの一つとして、一時預かり保育室「なろりんルーム」を開室しました。

子どもを一時的に預けなければ業務に就くことが難しい場合に利用することができ、対象は職員（再雇用職員・契約職員を含む）が養育する生後3ヶ月～就学前の子です。

保育室は、広くて明るく安全な空間になっていて、子どもたちはのびのび過ごしています。（農研機構 ダイバーシティ推進室）



なろりんルーム

農研機構一時預かり保育室





DSO事務局より

今月ご紹介したい本は、「オンナの奥義」(文芸春秋:阿川佐和子、大石静)です。ベストセラー「聞く力」の著者で阿川弘之の娘である阿川氏とNHKの朝ドラなどの脚本を多く手掛ける大石氏の対談本です。

ここで取り上げたいのは、「セクハラ禁止が男とテレビをダメにした」という章です。60代のお二人が若き日に遭遇した「セクハラ・パワハラ」の数々を語りますが、結論は「あの頃のセクハラ・パワハラには愛があった(おかげで、こんないい仕事ができただ)」というもの。雇均法の無い時代を生き抜いて成功した人だからこそ言えるセリフなのでしょう。どんな暴言も受け止める側の態度次第、というような発言に、女の敵は女、という言葉がふと頭をよぎりました。

残念ながら、昨今は、愛ある叱責でも時にはパワハラとされ、ほめ過ぎるとセクハラを疑われ、職場でもそれを恐れて他者(部下)との係わりを避ける風潮があるようです。

昭和の価値観の下での人材育成は難しい時代になっているのですが、違う形での良いコミュニケーションの醸成が今後の課題ではないかと思えます。

ただ、セクハラの際は抜きにして、これ以外のテーマ(仕事、更年期対処法、理想の死に方など)の対談を読むと、これから行く道の先に、こんな考え方ができる人たちがいる、というのは非常に心強いものがあります。タイトルには「オンナ」とあり、男性は手に取りにくいピンクの表紙ですが、男女問わず、将来に漠然とした不安を抱えている方にはお勧めです。ちなみに、副題は「無敵のオバサンになるための33の扉」です。無敵は無理でも、少しだけ心が強く、軽くなりそうです。(岩澤)



ダイバーシティサポートオフィスのご案内

ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)は、研究教育18機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画を連携して推進しています。参加機関相互のイベント等の機会提供、情報交換を行っています。当初は、科学技術振興調整費の支援を受けてスタートしましたが、現在はイコールパートナーシップでメンバーが対等に運営する、より開かれたDSOとして活動しています。

*DSOメンバー：産業技術総合研究所、森林総合研究所、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学(加入順)

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれの機関で働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして発行しております。当Letterの紹介も歓迎いたします。